



西前小だより

横浜市立西前小学校

Web: <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/nishimae/>



子ども一人ひとりのドラマ

校長 鳥飼 信幸

新型コロナウイルス感染拡大防止にともない、今年度もスポーツレクリエーションという形式で行います。子どもたちはもちろん、保護者の皆様にもご理解ご協力いただき、ありがとうございます。また、ご来賓の皆様、地域の皆様、西中学校、近隣の幼稚園・保育園の皆様におかれましては、子どもたちの活躍する姿を参観していただきたいのですが、お招きできないことにご理解いただきありがとうございます。

子どもたちはスポレクに向けて練習に励んでいます。練習の様子を見ると、「感動のあるスポレクにしていく」という強い思いを感じます。職員も子どもたちと同じ気持ちで企画・準備をしています。当日は保護者の皆様も、いっしょに感動を味わいましょう。

私は勉強が苦手だけど運動が得意で、その中でも走ることが大得意でした。実はそれが大きなプレッシャーとなっていました。「徒競走では1位になる」「必ずリレーの選手になれる」といったことを友達に言われるからです。運動会シーズンが来ると、とてもつらかった。

徒競走の順番とリレーの選手を決めるために、学年でタイムを測りました。出席番号順だったので、その組で1位となりました。次の組で走った友達がゴールして並んだ時に、「鳥飼はよかね。速かけん」と言いました。「みんな、そう言うけん、いつも1位にならんといかんと、つらいたい」と言いました。友達は「ばってん速かけん…」と怒っていました。

中休みにその友達に話しかけると、「いっつもドベ*。くなるにはどげんすればよかと」と泣いて言いました。なんにも具体的な練習方法も考えていないのに、「明日から練習ばい」と勢いで言ってしまいました。

次の日の休み時間から練習を開始。ただただ私が友達のちょっと前をいっしょに走るのみ。そんな練習を毎日続けました。

運動会当日、友達の組がスタート。なんと3位になりました。私に向かって大きく両手を挙げて喜んでいました。そして、いよいよ私が走る番。結果は3位。退場し友達から「生まれて初めて3位になったばい。うれしか。

鳥飼のおかげたい」と声をかけられました。私が小さな声で「よかったね」と言うと、「俺と同じ3位、嫌ね。がんばっていっしょに練習したやん」と怒って言いました。3位の結果に対して一人ひとりの価値は違います。自分の価値を友達に押しつけてはいけないし…。いっしょに喜び合うための私の練習が足りなかったのかもしれない。

友達から「俺は出られんけど、リレーがんばって」と言われました。徒競走の直後、緊張もあるし、全力疾走だったせいか、みんな、体力の限界でした。そして、リレーのスタート。アンカーの私がバトンをもらった時には、徒競走と同じ3位。くしくも徒競走と同じ1位と2位、3位が同じ走者。最後のコーナーで一気に2人を抜き、1位でゴール。みんなが喜んで私のところへ駆け寄ってきました。退場し友達から「よかったね。毎日、いっしょに練習したけん、持久力がついたっちゃんない」と言われました。リレーや100m走は、短距離走でありながら、何度も走ることで、持久力が必要なんだと感じました。友達は「お前と練習してよかった」と言いながら、自分のことのように喜んでくれました。

運動会后、その友達は算数が得意なので、私が理解できない問題を教えてくれるようになりました。

きっと、子どもたち一人ひとりにドラマがあります。それを見逃さないでください。そして、結果は様々だけど、練習してきた過程も含めてほめてください（Same Page）。運動が得意・不得意に関係なく、子どもたち一人ひとりが楽しむことができるスポレクにするために職員みんなで工夫し、子どもたちのために裏方で準備を進めています。スポレク、本当に楽しみです。

ドベ* 最下位のこと

学校ホームページへのアクセスはこちらから→

